

製品名: PSMD14 (10P7) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe16618**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000
分子量	35kDa

抗原情報

遺伝子名	PSMD14
別名	26S proteasome non-ATPase regulatory subunit 14; PAD1; POH1; Psm14; RPN11;
遺伝子 ID	10213.0
SwissProt ID	O00487
免疫原	ヒト PSMD14 の合成ペプチド

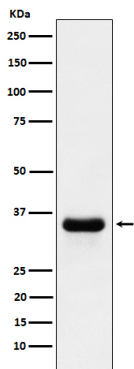
背景

26S プロテアソームを構成するメタロプロテアーゼの一種で、Lys-63 結合型ポリユビキチン鎖を特異的に切断します。26S プロテアソームは、ユビキチン化タンパク質の ATP 依存性分解に関与しています。プロテアソームによる Lys-63 特異的脱ユビキチン化の機能は未解明です。26S プロテアソームは、ユビキチン化タンパク質の ATP 依存性分解に関与する多タンパク質複合体です。この複合体は、細胞機能を損なう可能性のあるミスフォールドタンパク質や損傷タンパク質を除去し、不要になったタンパク質を除去することで、タンパク質の恒常性維持に重要な役割を果たします。そのため、プロテアソームは細胞周期の進行、アポトーシス、DNA 損傷の修復など、数多くの細胞プロセスに関与しています。PSMD14 サブユニットは、複合体内の「Lys-63」結合ポリユビキチン鎖を特異的に切断するメタロプロテアーゼです。二本鎖切断 (DSB) への応答において役割を果たします。「Lys-63」結合ポリユビキチンを切断することで非相同末端結合 (NHEJ) の調節因子として働き、JMJD2A/KDM4A のクロマチンへの保持を促進し、TP53BP1 の蓄積を抑制します。また、RAD51 のローディングを促進することで相同組換え修復にも関与します。

研究分野

細胞生物学

画像データ



HeLa 細胞溶解物中の PSMD14 発現のウェスタンブロット分析。